

2. 平成29年度主要事業成果

第1編 暮らしを自慢できるまち！

第1章 富谷で働くことにやりがいを実感できるまちを創ります

【商工業・雇用】

・多様な企業の誘致を推進し、雇用機会の拡大、就業環境の整備を図ります。

No.	事業名	H29決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	企業誘致事業	4,848,391	継続	企業誘致については、企業立地奨励金により2社に対して3,350千円の支援を行った。 また、宮城県企業立地セミナーに参加（東京セミナー191社、名古屋セミナー156社）し、宮城県と連携を図りながら誘致活動を行った。	経済産業部 産業観光課
			今後の取組		
			立地環境や各種優遇制度を適切に案内し、積極的な企業誘致活動を展開する。		

【企業支援】

・起業・創業にチャレンジできるサポート体制を整備します。

No.	事業名	H29決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	富谷市まちづくり 産業交流プラザ 整備事業	392,757,040	新規	地方創生拠点整備交付金を活用して、旧役場庁舎を創業支援・就労支援・地域貢献事業などを行う複合施設として再生を図り、しんまち地区の活性化など、新たな賑わいの創造に資する施設として整備を行った。	経済産業部 産業観光課
			今後の取組		
			起業・創業支援、人材育成、高齢者就労支援など、しんまち地区の活性化や新たな賑わいの創造に資する施設として、適正な維持管理及び運営を行う。 また、ICT技術や多様なアイデアを持つITベンチャー企業等のサテライトオフィスの誘致を進めるとともに、「富谷塾」では、塾生同士の対話会等を通して、地域に根差した新ビジネスや未来を創る起業家の発掘と支援を進める。		

第2章 “とみやシティブランド”で自慢したくなるまちを創ります

【農業】

- ・ブルーベリーの生産拡大とともに、新たな特産品の開発を推進します。
- ・農業生産者に対するきめ細かい支援策の強化を推進します。

No.	事業名	H29決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	ブルーベリー産地 拡大事業	1,401,757	継続	市の特産物であるブルーベリーの栽培面積の拡大及び販路拡大を図るために苗木購入助成を行い、生産者の負担軽減を図るとともに、収穫作業への支援として、3年目となるボランティア「ブルーベリーサポーターズ」を結成し、収穫量の増加に寄与した。	経済産業部 産業観光課 農林振興課
			今後の取組		
			ゆうパックによる宅配を中心として、県内はもとより、全国各地への販路拡大を図るとともに、ブルーベリーのPRと消費拡大を目指す。 また、農商工連携の取組として、ブルーベリースイーツフェアやブルーベリーサポーターズを通じて市民への周知を図る。		
2	特産品定着推進 事業	891,314	継続	「スイーツのまち とみや」の実現のため、新たな特産品となるよう「はちみつプロジェクト」を開始し、持続的な蜂蜜の採取に向けたミツバチの越冬を行うなど、運営の支援を行った。 また、果樹の苗木や資材の購入助成を行い、生産者の負担軽減とともに、各品種の栽培面積の拡大を図った。	経済産業部 農林振興課
			今後の取組		
			収穫された蜂蜜や果樹を市内スイーツ店等に出荷し、「とみやスイーツ」として販売してもらうことで、新たな特産品となるようPRと消費拡大を目指す。 また、農商工連携による新商品の開発や市場出荷も行えるよう収穫量の拡大を図る。		
3	とみや園芸直売 促進事業	711,760	継続	「安全で新鮮な野菜を食卓へ」をモットーに定着している「産直・直売」を進め、都市近郊型の立地を活かした生産者と消費者の顔の見える多角的販売体制の確立を図った。 また、市制施行記念イベントとして始まった「LaLaマルシェ」への支援・協力を推進した。	経済産業部 農林振興課
			今後の取組		
			都市近郊型の立地を活かした地産地消を推進し、おんないん会によるインショップでの直売を支援を行うとともに、「LaLaマルシェ」の取組への支援を行う。 また、機械化に対する助成を行い、作業の省力化を図る。		
4	認定農業者育成 事業	2,845,167	継続	後継者不足の解消に向けて、担い手となる認定農業者や新規就農者の育成確保のため、関係機関と連携し、支援を行った。	経済産業部 農林振興課
			今後の取組		
			担い手の経営安定化のために、関係機関と連携し、経営の支援を行う。 また、農地を面的に集積できるよう、農業委員会と連携して支援を行い、担い手による農作業の効率化を図る。		

※No.4の「認定農業者育成事業」は、第1次実施計画では「新規就農者支援事業」として掲載しています。

【観光・地域振興】

- ・「スイーツのまち」をシティブランドとして確立し、富谷の魅力を発信していきます。
- ・「とみやシティブランド」を確立し、発信していきます。

No.	事業名	H29決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	とみや国際スイーツ博覧会事業	26,069,328	継続	「スイーツのまち=とみや」の実現に向けて、「とみや国際スイーツ博覧会」をコロンビア大使館や県内大学などの産学官連携により開催した。市内外から36,200人の方々に来場いただき、交流人口の拡大につながった。 また、出展者(45店舗)の協力により、「とみやスイーツ」の新商品の開発や6次化を見据えた「とみやスイーツ」の可能性を高めることができた。	経済産業部 産業観光課
			今後の取組		
				交流人口5万人への拡大や6次化を見据えた新商品の開発等、スイーツを通じた新たな「とみやシティブランド」の確立を目指す。 また、海外のスイーツや文化に触れる機会を創出し、とみやスイーツのブランド強化や子どもたちの国際感覚の醸成に努める。	
2	とみやスイーツ活性化事業	120,710	新規	とみやスイーツ基金を活用し、あけの平小学校では、「スイーツ教室」や震災復興の一環として福島県飯館村のかぼちゃ「いいたて雪っ娘」の栽培を行い、「とみや国際スイーツ博覧会」で、市内スイーツ店がスイーツの原料として使用し、販売された。 また、富ヶ丘小学校では、養蜂(はちみつプロジェクト)による環境教育を学ぶ授業を実施した。	経済産業部 産業観光課
			今後の取組		
				とみやスイーツを通じた子どもたちへの「スイーツ教室」や「養蜂等による環境教育」など、継続的な教育活動や地域活動の取組への支援を行い、子どもを社会とつなぎ、子どもと未来をつなぐ学びの場を積極的に提供していくことで、「スイーツのまち=とみや」のブランド力強化を目指す。 基金を通して、「食育(地場産品)」、「キャリア教育」、「震災復興支援」など、様々な観点から、子どもたちの教育に寄与する取組を進める。	
3	とみやスイーツ基金費	343,000	新規	基金を通して子ども達の教育に寄与する取組を行いながら、とみや国際スイーツ博覧会では11件、ふるさと納税として15件、合計26件の寄附を受けた。	経済産業部 産業観光課
			今後の取組		
				「とみや国際スイーツ博覧会」への出展者や「ふるさと納税」による寄附の協力を求めながら、基金を活用した「とみやスイーツ活性化事業」を通して、子ども達の教育活動等に寄与する取組を継続し、「スイーツのまち=とみや」のブランド力の強化を目指す。	

第3章 安全で自由に移動できる便利なまちを創ります

【公共交通】

- ・生活圏域の実態を踏まえた公共交通のあり方について検討していきます。
- ・市民ニーズに対応した、利便性の高い市民バスの運行を進めます。

No.	事業名	H29決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	新公共交通システム推進事業	7,776,000	継続	「(仮称)富谷市公共交通ランドデザイン」の策定に向け、本市が目指すべき総合交通戦略や各種計画等を整理し、将来の都市交通体系のあり方について検討した。 また、平成28年度に実施した「公共交通利用に関するアンケート調査」の集計分析を行い、公共交通の課題を整理した。	企画部 企画政策課 交通政策推進室
			今後の取組		
			過年度調査を踏まえ、国土交通省の「街路交通調査費補助金を活用し、本市の将来の都市交通体系のあり方を示す「(仮称)公共交通ランドデザイン」の平成30年度中の策定に向け、取組を推進する。		
2	市民バス乗り継ぎ実証運行事業	4,562,437	継続	仙台市地下鉄泉中央駅への公共交通の利便性の向上を図るため、「富谷市役所」と「イオン富谷店」を乗り継ぎ拠点として、市民バスと民間路線バスを結節し、泉中央駅までの民間路線バス区間を低額で運行する実証運行を実施した。	企画部 企画政策課 交通政策推進室
			今後の取組		
			実証運行の結果を踏まえ、平成30年度は「イオン富谷店」での乗り継ぎ運行を実施し、引き続き、仙台市地下鉄泉中央駅への公共交通の利便性の向上に努める。		

【道路】

- ・誰もが利用しやすい道路ネットワークの充実・強化を推進します。
- ・歩行者や自転車利用者の安全が確保された身近な道路の整備を推進します。

No.	事業名	H29決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	市道富谷12-1号線道路改良事業	0	継続	富谷小学校北側に隣接する路線の幅員狭小と屈曲区間の解消及び歩道の整備による児童・生徒、その他歩行者の安全確保を目的に事業を計画したが、土地所有者の協力が得られなかったため、事業を一時凍結した。	建設部 都市整備課
			今後の取組		
			市道穀田三ノ関線の開通後、通行車両の動向を見ながら事業を検討する。		
2	市道穀田三ノ関線道路改良事業	12,241,800	継続	富谷小学校及び富谷中学校周辺の朝夕の通勤通学時間帯に発生する慢性的な渋滞を解消し、児童・生徒の安全と車両の円滑な通行を確保するため、工事開始に向けた用地買収や物件補償に着手した。	建設部 都市整備課
			今後の取組		
			平成30年度から道路改良工事に着手し、平成32年度に全線2車線を完成させ、供用開始を目指す。		
3	側溝整備事業	85,947,480	継続	太子堂、富ヶ丘、鷹乃杜、とちの木の4地区とその他の市道において、側溝の有蓋化による排水機能の改善と歩行者の安全を確保するため、有蓋化工事計画箇所において工事を実施した。	建設部 都市整備課
			今後の取組		
			側溝に蓋が設置されていない地区において、計画的に有蓋化工事を進める。		
4	主要幹線市道舗装修繕事業	237,330,840	継続	市道幹線道路の通行車両の安全を確保するため、国の交付金事業を活用して、成田西部線、あけの平12-1号線、熊谷前河原線、成田環状2号線において劣化した舗装の修繕を実施した。	建設部 都市整備課
			今後の取組		
			平成30年度には、交付金事業を活用して熊谷小野線の舗装修繕を実施する。 なお、宮城県の採択基準の見直しにより、一部路線が交付金事業の対象外となったため、新たな道路舗装個別修繕計画を策定し、平成32年度の交付金事業採択を目指す。		
5	市道維持管理事業	191,867,320	継続	市道において、歩行者や通行車両の安全と快適性を確保するため、側溝の破損や劣化した舗装の補修等を実施し、冬期間には、積雪や路面凍結による障害が発生しないよう、除雪や融雪剤の散布を実施した。	建設部 都市整備課
			今後の取組		
			定期的なパトロールの実施に加え、郵便局等と連携を図りながら道路の破損箇所の早期発見に努め、安全な道路の維持管理に努める。		

第4章 住み心地の良さを実感できる豊かなまちを創ります

【土地利用】

- ・安全・安心に配慮した土地利用を推進します。
- ・緑豊かな自然と都市的利用とのバランスが取れた土地利用を推進します。

No.	事業名	H29決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	国土利用計画策定業務	1,976,400	継続	富谷市総合計画の策定に伴い、本市の区域において長期的に安定した土地利用を図ることを目的とし、市土の利用に際して必要な事項を定めた第1次富谷市国土利用計画を策定・製本した。	企画部 企画政策課
			今後の取組		
				市土の均衡ある発展を図るため、各地域の特性を生かすとともに、地域間や自然との調和に留意しながら各種施策を推進する。	
2	都市計画事業	10,507,630	継続	国土利用計画に則した良好な市街地整備を進めるため、都市計画により適切な土地利用を図った。 仙塩広域都市計画第7回定期見直しにおいては、関係機関と調整を図り、宮城県へ市街化区域編入の申し出を行った。 また、市制施行や開発等による地形の変化を受け、正確な地図情報を提供するため、都市計画基本図の修正を行った。	建設部 都市計画課
			今後の取組		
			仙塩広域都市計画第7回定期見直しにおいて申し出を行った6地区は、全てが市街化区域編入候補地として認められたことから、開発者や関係機関と協議・調整を図り、計画的に土地利用を進める。		

【住宅・公園・上下水道】

- ・潤いと安らぎを誇れる、優れた居住環境の創出を図ります。
- ・市民や企業等との協働による、魅力的な居住環境の創出を図ります。
- ・安全安心な水の安定供給と衛生的な水環境を守ります。

No.	事業名	H29決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	一般公園維持管理事業	112,033,968	継続	<p>環境、景観、防災等の観点から、公園機能の充実に努めるとともに、市民の憩いや交流の場、健康づくりの場として広く活用されるよう、ニーズに応じた公園や緑地の整備を進めた。</p> <p>また、公園を安全、快適に利用してもらうため、定期的な巡回や点検等による問題箇所の発見と対応、老朽化した遊具の計画的な交換を実施した。</p> <p>都市公園は、高屋敷公園の供用開始によって85か所となり、総面積は648,495㎡となった。</p>	建設部 都市計画課
			今後の取組		
2	上下水道施設維持管理業務	232,410,799	継続	<p>配水池やポンプ場などの機器、道路に埋設された配水管等を適正に維持・管理し、水道水の安定供給を図るため、富ヶ丘、鷹乃杜地区の老朽化した配水管の更新工事、富谷配水池の外壁の塗装改修工事等を実施した。</p>	水道事業 上下水道課
			今後の取組		
3	下水道施設維持管理業務	168,165,467	継続	<p>汚水管やポンプ場等の下水道施設を適正に維持・管理し、事故防止と施設の延命化を図るため、成田第1汚水中継ポンプ場ゲート設備改築工事、富谷1号汚水幹線人孔改築工事等を実施した。</p>	建設部 上下水道課
			今後の取組		
4	合併処理浄化槽設置事業	13,730,908	継続	<p>公共下水道処理区域外において、合併処理浄化槽の普及促進と適正な維持管理による公衆衛生の向上を図るため、浄化槽設置11件、維持管理333件について費用の一部を補助した。</p>	建設部 上下水道課
			今後の取組		

No.	事業名	H29決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
5	下水道事業企業 会計移行業務	12,045,240	継続	平成32年4月からの地方公営企業法適用に向け、円滑に移行するために必要な手続きとして、保有する固定資産の調査を行った。	建設部 上下水道課
			今後の取組		
			平成29年度で完了した資産調査の結果を基に、資産評価と法適用に向けての事前手続及び企業会計システムの構築を行う。		
6	(仮称)「やすらぎパークとみや」整備事業	H30繰越明許 (5,886千円)	新規	公営墓地とパークゴルフ場を一体整備するため、「基本計画」の策定に着手した。なお、施設規模設定・適地選定等に時間を要したため、平成30年度へ繰り越した。	市民生活部 生活環境課
			今後の取組		教育委員会 教育部
			基本計画は、平成30年10月の完成を予定しており、地域住民説明会等を開催し、地域住民の理解を得た上で、地質・水質調査・測量等の実施、基本・実施設計、造成工事などの整備に向けた作業に取り組む。		生涯学習課

【自然環境・公園緑地】

- ・緑豊かな自然環境を保全しながら、積極的に活用します。
- ・自然環境を次世代に継承していくため、市民との協働による適切な維持管理に努めます。

No.	事業名	H29決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	大亀山森林公園 維持管理事業	19,357,206	継続	本市のレクリエーション拠点施設として、豊かな自然と調和を図りながら、園内の環境整備や施設等の維持管理を行う必要があるため、除草や支障木の伐採、野外卓交換やアスレチックの修繕等を実施した。	建設部 都市計画課
			今後の取り組み		
			豊かな自然と調和を図りながら、園内の環境整備と施設等の適切な維持管理に努める。 また、本公園は、本市の貴重な観光資源であるが、供用開始から20年以上経過しており、一層の利用促進を図るため、今後の公園のあり方を検討する。		
2	河川維持管理事業	5,261,920	継続	河川の災害防止と環境保持のため、調整池及びその附属施設の除草や堆積土砂の撤去などを実施し、適正な維持管理を行った。 また、河川清掃については、河川愛護会等の協力が大きいことから、活動を助成することで参加者の負担軽減を図った。	建設部 都市整備課
			今後の取り組み		
			河川の維持管理は、自然環境を保全するとともに治水、利水上からも重要であるため、河川管理者による適正な維持管理を行うとともに、引き続き河川愛護会の協力が得られるよう、地域との連携に努める。		